

電気コードや配線器具からの出火防止。

一般の家庭に必ずある電気コードや配線器具は、普段何気なく使用され、我々の生活に必要不可欠なものとなっています。しかし、電源コードや配線器具は、眼に見えないところで接続部分が緩み発熱したり、トラッキング現象等による火災が発生しています。このようなことを防ぐため、下記の内容に注意し電気コードや電気器具からの火災を防ぎましょう。

- 電源プラグを抜く際は、コード部分を持って引っ張ることは避け、必ずプラグ本体を持って抜くようにしましょう。
- 電源プラグはコンセントと緩みがないか、しっかり差し込まれているか点検しましょう。
- 電源コードが家具などの下敷きになったり、押しつけなどにより傷つかないようにしましょう。
- 電源コードを束ねたり、ねじれたまましようしないようにしましょう。
- 電源コードが加熱されるような場所での使用はやめましょう
- ビニールコードを柱などに釘などで止めるのはやめましょう。
- コンセントやコード、テーブルタップには使用できる電気量（許容電流）に制限があります。表示された電気量（例：10A「1,000W」・15A「1,500W」）を確認して使用しましょう。
- 芯線（コードなどの中心部にある銅線）どうしをねじり合わせて、直接つなげて使用することは大変危険です。コードとコードをつなぐ場合は、接続器を使用するか、専門の業者に配線を依頼しましょう。
- 日常使用していない器具は電源を切り、電源プラグ抜いて置くよう心掛けましょう。

